

一人ひとりに使いやすく快適な 「あると便利」が充実した、 もっと出かけたくなるユーティリティー。

必要な時に使える、使いたい時にそこにある、収納装備

必要な時にすぐに使える適材適所にこだわりながら、使用しない時には隠しておけるといった、機能的にしつらえられたリビングのようなスマートさを追求。1列目のカップホルダーは3箇所に設けながら引き出し式とし、1列目のマイバッグなどを掛けられるフックもポップアップ式を採用することで、使用しないときはすっきりと格納。さまざまな装備を繁雑にならないように配慮しながら全列に充実させました。



家族で楽しく過ごす空間で不便や不満を感じることがないように、一人ひとりに快適な装備や機能を目指しました。1列目から3列目まで収納装備を充実させ、荷室の広さと使い勝手を追求。心地よくより安心な空調システムを採用するなど、日常も休日の長距離もより積極的に出かけたくなる、快適性と使いやすさを実現しています。

なんにでも見えそうな家族の自由が広がる荷室

6:4分割格納式を採用し、床下へすっきりと納まる3列目シート。簡単操作で格納／設置を実現したことで、荷室の使いやすさをいっそう向上しました。床面が低く、開口の下端も同じ高さのため、大きな荷物でもスムーズな出し入れが可能。3列目シートを設置した状態でも379Lの大容量を実現し、3列目シートを格納して2列目シートを最前端にスライドさせることでフラットな床面がさらに広がり、容量1,395L（ベンチシート仕様車は1,463L）の荷室に拡大できます。



数値はVDA方式によるHonda測定値

開閉量が調整できるパワーテールゲート

タイプ別設定

テールゲートの開度を任意に設定できるパワーテールゲートを開発しました。メモリー機能※によって、記憶させたい開度でテールゲートのスイッチを長押し（約1秒）することで設定が可能。使う人が手の届きやすい開度など好みの位置でゲートを停止させることができます。また、スマートキーやテールゲートのスイッチを押して停止することも可能。さらに、手動での開閉もでき、止めた位置で開度を保持するため、背後に壁があるような駐車スペースでも、途中まで開けて荷物を出し入れすることができます。

※テールゲート先端が地上から約1.5m以上で設定可能となります。

